

インターネット配信による音楽や演劇の広がり

富山大学名誉教授 森田 信一

2020年からコロナの環境になって、いまだに終わりが見えません。コンサートを聴いたり演劇を観たりという場での空間の密状態が感染を招くということから、インターネットを利用した配信という新しい観賞方法が活発になってきました。インターネットの利用としては、リモートワークで仕事をするという形も活発になり、地方へ転居する人も増えているようです。またミーティングや会議などもオンラインで開催されています。ホールなどで催し物が開かれ、それが同時にオンラインで配信されれば、遠方からの鑑賞も可能になり、より多くの人が参加することができます。インターネットの環境はすでに整っていたのですが、それほど活用が進んでいなかったところへ、コロナ感染の広がりが拍車をかけたということでしょう。

ここでは、こういったインターネット活用の広がりを網羅的に調べ上げるということではなく、この一年で私が個人的に利用した色々な配信を振り返ってみる中から、現在の配信の様子の一部を覗いてみるのではないかと考えました。具体的には、ライブハウスやホールのコンサート、観劇、ミーティングなど、いろいろな形で利用は広がっています。コロナ禍によって不自由になったと同時に、新しい可能性に気づかされる事になったこともたくさんあるようです。

それでは、私の個人的な経験を振り返って、2021年から2022年のはじめにかけての、いろいろな事例を紹介・検討してみたいと思います。配信での鑑賞だけでなく、ホールなど会場での鑑賞、オンラインの会議など、いろいろな形の体験を紹介していきます。

2021年1月 オンライン（ZOOM）でインタビューを受けた

これは関西圏の方からの研究のためのインタビューで、事前にメールのやりがあって、その締めくくりとして、細かい点について、いろいろと話し合うことができました。感染の広がる中を長距離の移動をすることなく、ゆっくり話し合うことができて有意義でした。

2月 ライブハウス配信

吉祥寺のライブハウス、シルバーエレファントのライブを配信で観賞しました。ライブ会場は人数を制限していたのではないかと思います。配信では会場よりも安い料金が設定されていまし

た。この日は、synapseとMitaraphinaという二つのバンドが出演しました。私はMitaraphinaを見る（聴く）のが目的でしたが、synapseも楽しめました。これは、モイ株式会社が運営しているツイキャス（TwitCasting）という、ライブ配信のサービスで、2010年からサービスを開始し、活発に利用されるようになってきているようです。ライブが終った後も、購入したアクセスコードを使って、しばらくの間、鑑賞できるようになっていました。

3月 朴蔡姫（パク・キュヒ）リサイタル中野ゼロホール

これは配信でなく、会場へ出かけました。人気と実力を兼ね備えたクラシックギタリストのリサイタルです。座席は蜜を避けるために一人置きになるように設定されていて安心感がありました。検温、アルコール消毒など、感染に対する配慮も行われていました。東京の感染者数が330人という日でした。

3月 リモート会議オンライン

この雑誌c m cの編集会議がオンラインで開催されました（私も編集委員をしています）。昨年には集まって編集会議をせず、オンラインという形になっています。集まって会議をする際の雑談などの要素はなくなってしまうますが、遠方の編集委員も参加することが容易になり、集まるより良い点もあります。雑誌自体も紙媒体からネット版に変更になって、紙媒体であった時の発行部数と比較すると、より多くの読者の目に触れるようになり、論文の投稿なども増えてきています。

5月 合唱コンサート紀尾井ホール

ある合唱団の定期コンサートに出かけました。昨年は中止となっていたましたが、今年はホールの入り口で、検温、消毒などを実施。座席も一つ置きにするなどの体制をとって実施されました。合唱のメンバーも声楽用のマスクを着用し、メンバーの人数を限定して舞台上が密にならないように考慮されていたようです。安心して鑑賞できました。

5月 演劇東京芸術劇場

著名な演劇プロジェクトの新作芝居に出かけました。座席は一つ置きにすることもなく満席状態で、若干の戸惑いを感じました。座席の使い方などは、ホールの考え方なのか、主催者の考え方なのかわかりませんが、感染者は東京で600人前後という頃で、緊急事態宣言下でした。7月の第5波が来る前ということになりますが、まだまだ緊張感のあった時期です。

6月 声楽コンサート大和田・伝承ホール（渋谷）

日本歌曲振興波の会のコンサートに出かけました。ホール内は感染対策が実施されていて、座席は一つ置きに設定されていたし、それほど混雑していなかったので安心感がありました。

6月 ギターコンサートミュージア川崎

4人のギタリストによるクラシックギターのコンサートです。150人ほど収容の部屋で行われた

のですが、100人以下に限定して実施されました。

7月 オンラインで編集会議

これも、この雑誌 c m c の編集会議です。オンラインになったことで会議の回数も増やすことになりました。

8月 DAISY教科書の会議オンライン

発達障害などで読みに困難がある児童・生徒のためにDAISY教科書（DAISY = Digital Accesible Information SYstem）が全国のボランティアグループによって作られています。このDAISY教科書を利用したい場合は、（公財）日本障害者リハビリテーション協会に申請して、ID、パスワードを発行してもらう必要があります。インターネットのデータベースから教科書データをダウンロードして利用することができます。利用者は全国で1万人を越え、増加し続けています。私もそのボランティアをしていて、製作したデータはインターネットを通じてデータベースにアップロードしています。DAISY教科書を製作しているグループの打ち合わせが、年に2回ほど行われてきましたが、現在の状況では集まることが困難ということで、オンラインで開催されました。ボランティアグループは全国に存在しているので、集まって顔を合わせることに意義はありますが、オンラインで開催されることで、より多くのボランティアが参加することができました。

8月 ギターコンサート広尾のサロン

小さなサロンで行われた、クラシックギターと、Yang Homie（ヤンホーミー）というロックバンドのアコースティック形式での演奏を聴きました。客は10数人ほどで、密状態ではなく時間も短かく設定されていました。

9月 ライブハウス配信ライブ

下北沢のReGというライブハウスで、Yang Homie（ヤンホーミー）と、“ホンがヒンが”というグループのライブがありました。これは配信も同時に行われたので、配信で見ることにして、ツイキャスから配信チケットを購入して、ネットで見ることができました。ツイキャスは、いろいろなコンサートを手広く配信しているようです。Yang Homieという5人のバンドは、ボーカルとベースに中国の若者が参加しているユニークなバンドです。特にボーカルはチベット出身で、中国での活動の経験もあるようです。

9月 ライブハウス配信

吉祥寺のシルバーエレファントというライブハウスは、プログレッシブロックを得意とするライブハウスで、この日は、MitaraphinaとMOORIという2つのバンドが出演しました。これもツイキャスの配信で鑑賞しました。客席も映っていましたが、客数はそれほど多くないようで、蜜を避けて実施されているようでした。

10月 アンサンブルノマドオペラシティ・リサイタルホール配信

第73回定期コンサートは、「中心なき世界Vol.2」と題して、弦楽器による現代作品6曲を集めたコンサートとなっていました。会場の集客と同時に、ユニオンチャンネルによる配信も行われたので、配信で観賞しました。これは、テレビマンユニオンの運営するクラシカルミュージックから配信を行っているもののようでした。この配信は、コンサートのライブ配信のみで、後で見ることはできないものでした。

11月 演劇東京芸術劇場

著名な演劇プロジェクトの小規模なプログラムの再演に出かけました。この日も、感染の対策はされていたものの、座席は間を空けることなくフルに使っていました。

11月 リモート会議オンライン

これも、この雑誌c m cの編集会議です。

11月 リモート会議オンライン

8月に開催された、DAISY教科書製作のボランティアの会議の、本年度2回目の会議です。DAISY教科書の利用状況、製作方法についての打ち合わせなどが行われました。

11月 落語とギターコンサート古石場文化センター

東京の江東区の古石場にある地域センターの小さな部屋で行われ、落語家とギタリスト3人による催し物でした。それほど広くない部屋でしたが観客は10数名程度で、感染についての不安を感じないイベントでした。

12月 日本歌曲振興波の会のコンサート加賀町ホール（新宿）配信

これは、日本歌曲振興波の会第4回ライブ配信コンサートというものでした。ここは規模の小さなホールですが、ここ独自で配信の設備をしているようです。会場にも観客を入れていたようです。収容数は80名ですが、感染を考慮して40名程度にしていたようです。複数のカメラが設置されていて、いろいろな角度からの映像を観賞することができました。

12月 錦織健リサイタルミューザ川崎

テノールの錦織健のリサイタルに出かけました。感染に考慮して座席は一人おきに設定されていました。

2022年1月 リモート会議EPUB電子出版のアクセシビリティのJIS化について

電子書籍のフォーマットが色々ある中で国際標準規格となっているEPUBが、今年JIS化されることについての講演をオンラインで聞きました。私も、以前からDAISY教科書の製作ボランティアを

しているので、この会議を聞きました。DAISYとEPUBは非常に近い規格となっています。ここでアクセシビリティと言っているのは、縦書きやルビの表示、読み上げ音声などが考慮されるということの意味しているのだと思います。

2月 5月に鑑賞した演劇の配信

昨年、劇場で観賞した演劇が配信されることになり、Blinky Liveというサービスを利用して鑑賞しました。利用期間は1週間ほどでした。その期間は何度でも見ることができました。

2月 リモート会議デイジー教科書事例報告会

小中学校でDAISY教科書の利用状況と利用されている事例を紹介する配信でした。各地の教育委員会、の教育委員会、現場の小学校の先生などからの報告を聞くことができました。

以上、ほぼ1年間に利用した音楽や演劇の配信、それとコンサートや劇場に出かけた記録、さらにオンラインで参加した会議などを列挙してみました。ライブハウスやホールの配信には、配信専門の会社がいくつも誕生していることがわかりました。もう一つ付け加えておかなければならないのは、私が1年半前から受けている、オンラインによるギターのレッスンについてです。はじめは対面のレッスン受ける予定でしたが、感染が治まらないので、オンラインでレッスンをお願いすることになりました。月に2回ほどですが、レッスンは問題なく進んでいます。コロナが治まった後もレッスンはオンラインで良いように思っています。